

令和4年度 第4回津市健康づくり推進懇話会会議録

1	会議名	令和4年度 第4回津市健康づくり推進懇話会																		
2	開催日時	令和5年1月19日(木) 午後2時から午後4時まで																		
3	開催場所	津市役所本庁舎8階 大会議室A(津市西丸之内23番1号)																		
4	出席者の氏名	<p>(津市健康づくり推進懇話会委員)</p> <p>深井英喜、清水真由美、草川雅之、小山睦、亀井貴彦、松室泰輔、岡本麻衣、小林小代子、朝倉征子、溝田久孝、野口寛子、佐藤典子、川田いくこ、佐藤弘道、中川恵子、奥山典子、奥田忠司、盆野綾子(敬称略) (18名)</p> <p>(アドバイザー)</p> <p>三重県津保健所 副所長兼保健衛生室長 紀平由起子</p> <p>(事務局)</p> <table border="0"> <tr> <td>津市健康づくり課</td> <td>担当参事兼課長</td> <td>米倉一美</td> </tr> <tr> <td>津市健康づくり課</td> <td>保健指導担当主幹</td> <td>庄山直美</td> </tr> <tr> <td>津市健康づくり課</td> <td>保健指導担当副主幹</td> <td>井川裕子</td> </tr> <tr> <td>津市健康づくり課</td> <td>保健指導担当副主幹</td> <td>鈴木香</td> </tr> <tr> <td>津市健康づくり課</td> <td>保健指導担当</td> <td>石川絵里子</td> </tr> <tr> <td>津市健康づくり課</td> <td>管理担当</td> <td>浅井未彩希</td> </tr> </table>	津市健康づくり課	担当参事兼課長	米倉一美	津市健康づくり課	保健指導担当主幹	庄山直美	津市健康づくり課	保健指導担当副主幹	井川裕子	津市健康づくり課	保健指導担当副主幹	鈴木香	津市健康づくり課	保健指導担当	石川絵里子	津市健康づくり課	管理担当	浅井未彩希
津市健康づくり課	担当参事兼課長	米倉一美																		
津市健康づくり課	保健指導担当主幹	庄山直美																		
津市健康づくり課	保健指導担当副主幹	井川裕子																		
津市健康づくり課	保健指導担当副主幹	鈴木香																		
津市健康づくり課	保健指導担当	石川絵里子																		
津市健康づくり課	管理担当	浅井未彩希																		
5	内容	<p>1 あいさつ</p> <p>2 津市第4次健康づくり計画策定のためのアンケート調査結果について</p> <p>3 津市第3次健康づくり計画指標評価まとめについて</p> <p>4 津市第4次健康づくり計画策定スケジュールについて</p> <p>5 津保健所からの連絡とアドバイス</p> <p>6 その他連絡事項</p>																		
6	公開又は非公開	公開																		
7	傍聴者の数	0人																		
8	担当	<p>健康福祉部健康づくり課</p> <p>電話番号 059-229-3310</p> <p>E-mail 229-3310@city.tsu.lg.jp</p>																		

1. あいさつ

【事務局】

1月のお忙しい中、御参加いただきありがとうございます。また本年もよろしくお願いいたします。それでは、令和4年度第4回津市健康づくり推進懇話会を始めさせていただきます。新型コロナウイルスの感染症についてですが、1月18日時点の感染者の発生数は津市625件、三重県全体3,748件で、現在、高止まりの傾向にあります。13日に三重県から医療ひっ迫防止アラートが発表されたところですが、津市としましても、応急診療所の受診者が増加し本来の業務が圧迫されている状況が続いております。基本的な感染防止対策の徹底、体調不良時の備え、ワクチン接種の呼びかけ、医療機関の適切な受診についても今後一層津市としての啓発が必要になると思っております。

本日は会場とオンラインを併用しまして感染防止対策をしながら開催させていただきますので御了承ください。今回も、本懇話会のアドバイザーとして御指導いただく津保健所副所長の紀平由起子様に御参加いただきます。よろしくお願いいたします。

【紀平副所長】

よろしくお願い致します。

【事務局】

なお、本会議は津市情報公開条例第23条の規定に基づきまして、公開の対象となりますので議事の内容につきましては録音させていただきます。また内部資料としますので会議の様子を撮影させていただきますので御了承ください。

それから、事項書4、津市第4次健康づくり計画の策定スケジュールについて説明をさせていただきます。今年度、令和5年3月に第5回懇話会を予定しておりましたが、計画策定のスケジュールの関係上取りやめとさせていただきます。御予定いただいていたかと思いますが申し訳ありません。御了承いただきますようお願いいたします。

それでは草川会長、議事進行をよろしくお願いいたします。

2. 津市第4次健康づくり計画策定のためのアンケート調査結果について

【草川会長】

この1月の応急診療所は1日180人を超える方が利用され、明け方の2時3時までとなったそうです。

それでは本日の会議を始めます。懇話会には津市並びにその住民の方々が健康づくりを進めていくための課題やその効果的な取り組みについて協議し、課題の解決のために他の機関と連携を図りながら具体的な取組を進めるという進行管理の役割があります。委員の皆様には日頃からさまざまな分野で御活躍いただいておりますけども、津市第4次健康づくり計画に向けてこの懇話

会では日頃の活動で感じておられる健康課題について意見を交換し、横断的に取り組みを考えることが出来る場として設定されております。

事項書2、津市第4次健康づくり計画策定の為のアンケート調査結果について、事務局から説明をお願いします。3、000人の方々へのアンケートと聞いております。

よろしく申し上げます。

【事務局】

お手元にあります資料1「津市第4次健康づくり計画策定のためのアンケート調査結果報告書」をご覧ください。こちらは第4次計画策定のためのアンケートであり、第4次計画を策定した後、令和6年3月の公開を予定しておりますことから、グループワーク終了後には回収させていただき、また次回必要な場合に再度活用したいと思っておりますので、御了承ください。

それでは概要について説明します。3ページをご覧ください。この調査については18歳以上の成人、小学校5年生、中学2年生を対象として実施いたしました。アンケートの有効回収率は成人が44.5%で3,000人中の1,330人、小学生の92.8%で2,078人、中学生84.8%で1,876人という結果でした。成人の年齢別につきましては7ページをご覧ください。回答した1,330人のうち一番少なかったのは10歳代、20歳代を合わせた9.0%で120人、一番多かったのは70歳以上で24.5%で326人です。9ページをご覧ください。問1「自分が健康だと感じていますか」という質問です。自分自身をまあ健康と感じている人が一番多く68.1%となっています。非常に健康・まあ健康を合わせた割合については79.4%となり前回平成27年と比較するとやや減少しています。9ページの下、問2「普段健康に気をつけていますか」という問いには気をつけているほうという回答が最も多く65.4%となっています。10ページの下、経年比較グラフをご覧ください。気をつけている・気をつけているほうを合わせた割合を左から男女別、年齢別に示しています。平成22年度・27年度の過去の調査と比較すると50歳以上で減少しています。

次からは津市の健康づくり計画の10個の分野順に説明をします。小学生・中学生アンケートでも質問している項目については成人アンケート結果とあわせてお伝えさせていただきます。

まず食生活・栄養の分野です。成人アンケートは11ページをご覧ください。問3「朝食を食べていますか」をご覧ください。毎日食べる人の割合は成人では79.2%となっています。平成27年度調査と比較すると減少しています。小・中学生は47ページをご覧ください。ページの下、問2「朝ごはんを食べていますか」をご覧ください。毎日食べる人の割合は小学生は87.9%、中学生は80.3%となっています。こちらも平成27年度調査と比較すると減少しています。12ページ、成人アンケートの問4「誰かと1日1回以上食事をしていますか」の質問です。毎日もしくは週に4日から6日は誰かと食事をしている人の割合は80.9%となっています。小・中学生は48ページをご覧ください。夕ごはんは小学生、中学生どちらも90%以上が誰かと一緒に毎日食べています。朝ごはんも夕ごはんもどちらも誰かと食べていると答えた割合は小学生で72.6%、中学生で54.3%となっています。成人アンケート14ページ問8をご覧ください。津市では、高齢者の虚弱予防や早期発見を目的としたフレイル予防事業に取り組

んでいます。そのフレイルという言葉も内容も知らない人が55.8%でした。

続きまして運動の分野です。15ページ成人アンケート、問9「意識して体を動かしていますか」では、動かしているは58.4%でした。平成27年度調査と比較すると、50歳代までの若い世代では増加しましたが70歳以上の男性、女性ともに減少しています。49ページ小・中学生に「運動やスポーツをすることは好きですか」という質問をしましたところ、小学生、中学生どちらも、好きとやや好きを合わせた割合は85%を超えています。

次にたばこの分野です。たばこに関しましては市政アンケートで質問をしています。市政アンケートは今年の8月に調査し、先日ホームページでも掲載されましたので、その数値を確認致しました。たばこを吸っていると答えた方は男性で22.7%、女性で4.7%でした。平成27年度の調査よりも男性、女性ともにたばこを吸っている人は減少しています。

続きましてアルコールの分野です。16ページ、成人アンケート問10①、「アルコールをどのぐらいの頻度で飲みますか」の質問では毎日飲む人の割合は13.8%となっています。平成27年度調査と比較すると男性、女性ともにアルコールを飲んでいる人は減少しています。

続きまして歯とお口の健康の分野です。19ページ成人アンケート問12、「自分の歯は何本ありますか」では、24本以上歯がある人は70.6%となっています。平成27年度調査と比較すると24本以上歯がある人の割合は20%程度増加しています。年齢が高くなるほど男性、女性ともに歯の本数が減少しています。また歯磨きの回数について20ページをご覧ください。成人アンケート問13「1日に何回くらい歯を磨きますか」の質問では、1日に2回歯を磨く人の割合が最も多く、成人は53.6%となっています。50ページ問7をご覧ください。小・中学生も1日に2回磨く割合が最も多く、小学生は62.6%、中学生は67%となっています。

続きまして生活習慣病・がんの分野です。21ページ、成人アンケート問15をご覧ください。身長と体重をお答えいただいた中から、BMIを算出し、BMI25以上の肥満の方がどれぐらいいるかを確認しました。22ページの下、経年変化のグラフをご覧ください。令和4年の男性の肥満の割合は25.9%、肥満の割合女性は13.4%となっています。平成27年度調査と比較すると男性の肥満は増加、女性の肥満は減少しています。続きましてがん検診受診率の質問です。25ページをご覧ください。国が受診を特に推奨する対象者の年齢の受診率を算出したところ、肺がん検診を受けたとお答えいただいた方は72.7%でした。大腸がん検診では55.0%、胃がん検診では57.9%、女性のみにご質問いたしました、子宮がん検診については56.6%、乳がん検診は61.3%となっています。国が目標としている50%を上回る結果となっています。

続きまして、休養・こころの分野です。35ページをご覧ください、成人アンケート問22①「イライラやストレスを感じることはありませんか。」の質問では、イライラやストレスをいつも感じると答えた人の割合15.3%となっています。平成27年度調査と比較すると、減少しています。性、年齢別に見ると女性の30歳代、40歳代がイライラやストレスをいつも感じる、時々感じるとお答えいただいた方が90%を越えています。次に、37ページをご覧ください。問24「朝起きたときにぐっすり眠れましたか」という質問について、あまり感じない、全く感じないという答えを合わせた割合については、成人アンケートでは、39.7%となっています。年

年齢別に見ると男性では、40歳代、50歳代、が50%を越え、女性では、30歳代、40歳代が39%程度と高くなっています。53ページをご覧ください。小・中学生ではあまり感じない、全く感じないという答えを合わせた割合は小学生24.2%、中学生36.3%となっています。また、54ページ問15小・中学生に「自分のことが好きですか」と質問しましたところ、自分のことが好き、まあまあ好きと答えた人を合わせた割合は、小学生66.9%、中学生61.6%でした。平成27年度調査と比較すると小学生、中学生どちらも増加しております。

続きまして39ページ、成人アンケート問25をご覧ください。「近所の人とどの程度付き合いをしていますか」と質問したところ、ほとんど付き合い合わない、近所にどんな人が住んでいるのかわからないと回答した人を合わせた割合は16%となっています。平成27年度調査と比較すると増加しています。

続きまして、感染症・熱中症の分野です。41ページをご覧ください。成人アンケート問27「帰宅時に手を洗いますか」の質問では、洗うと答えた人の割合は81.9%でした。平成27年度調査では68%でしたので大きく増加しています。性・年齢別にみると、70歳以上の男性が、66.7%と70%に満たない結果ですが、平成27年度調査の70歳以上と比較すると増加しております。

最後に災害の備えの分野です。42ページをご覧ください、成人アンケート問29「非常持ち出し袋の中に健康管理に必要なものは備えていますか」と質問したところ、備えていないと答えた人の割合は54.5%、そもそも非常持ち出し袋がないと答えた人の割合は26.7%となっています。43ページからは成人アンケート問30にて新型コロナウイルス感染症による影響について質問しています。5つの項目について結果が出ています。43ページ③がん検診の受診について質問しております。前回の懇話会の意見としてそこまで受診控えがあったかなという話題も出ていましたが、受診を控えたと答えた方は11.8%でした。新型コロナウイルス感染症が流行する以前と比べて変化が大きかった項目は、44ページをご覧ください。④人との交流について、減った、やや減ったと感じる人が74.3%で、一番変化がありました。以上です。

【草川会長】

ありがとうございました。事項書2のところでも特にここを確認しておきたいことはございませんでしたか。なければ進みます。

3. 津市第3次健康づくり計画指標評価まとめについて

【草川会長】

事項書3、津市第3次健康づくり計画指標評価のまとめについて、説明をお願いします。

【事務局】

資料2「津市第3次健康づくり計画指標評価まとめ」をご覧ください。こちらは、第3次健康

づくり計画の10分野の評価指標ごとのアンケート調査結果と社会資源の取組の成果課題についてまとめたものとなっております。

評価指標ですが、基準値のところは平成27年度に行った計画策定アンケートや市政アンケート、市の調査等の結果となっております。現状値が主に今年度調査したアンケート結果です。数字の下に小さな文字で書いてあるのが、今回行った計画策定アンケート以外から数値をとっているものになります。続いて評価の欄をご覧ください、評価については、A、B、C、Dの4段階を記載しています。目標値に達した項目をA、目標値に達していないが平成27年度の基準値より改善した項目がB、平成27年度の基準値のまま変化のない項目がC、平成27年の基準値より悪くなった項目がDとなっております。上の方にそのイメージ図を載せています。続いてアンケートからわかる課題に関しては計画策定アンケートより読み取れた内容や課題を記載しています。真ん中の現状と成果課題をご覧ください。市の取組につきましては、健康づくり課の事業担当ごとに検討した現状と成果、課題を記載しています。社会資源の取組の現状と成果、課題につきましては、懇話会の皆様に二度グループワークしていただき、また、各御所属での取組の現状や成果、課題を御報告いただきましたので、そちらを要約し記載いたしました。これらの現状と成果につきましては、項目ごとに最初に記号を付けています。図の上の方に記載しているのですが、全年齢に関する項目が黒丸、妊娠期が白いひし形、乳幼児、子育て期が黒いひし形、学童期、思春期が白い四角、青壮年期、中年期が黒四角、高齢期が白丸です。この後のグループワークでは、アンケートの結果と現状・成果、課題を見ていただき、指標ごとにこの評価に至ったと考えられる理由について御意見をいただきたいと思えます。事務局が進行をさせていただきます。話し合っていた各分野については、事務局で2分野は割り振りさせていただいておりますが、話し合いが終わり次第、時間があれば他の関心のある分野を選んで話し合いを進めていただきたいと思えます。

【草川会長】

では、各グループに事務局が入っていただいて、グループワークをお願いします。第4次健康づくり計画の新しい目標につながる部分でありますので、積極的な御発言をお願いします。それぞれのグループに分かれて、15時30分までよろしくをお願いします。

(グループワーク)

【草川会長】

時間になりましたので、グループでそれぞれ話し合った内容をまとめていただければと思います。1グループからお願いします。

【川田委員】

1グループは休養・こころ、ストレスと上手に付き合おうという話し合いをさせていただきました。まずは、ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合はA評価が出てい

ました。コロナ禍でなかなか厳しかった中でA評価、数字が良かったというのはどういうことかと話し合いました。一つには、子育て支援センターの充実や利用者の増加、それから産休だけでなく育休も取得しやすくなったからということも考えられます。また育休などを取得される男性が増えているということも理由として考えられます。今後の目標については、少子化対策にも繋がりますので、育休などの取りやすい環境、特に中小企業で、休んだ期間の職員の補充について、何度も社会で考えていかなければならぬのではと話し合いました。それから困った時に相談できる人がいない、相談しないというところでは、小学生、中学生、成人について増えていますので、これについては、コロナ禍で人と話が出来なくなったことがあるのではないかと考えられます。社会で色々な事件が発生しているため学校等で知らない人とは話をしないようにという指導をされているということ、子ども達についてはこの3年間でマスクに慣れてしまいコミュニケーションがとりづらい社会の環境にあるということ、それからマスクをとれるようになった時に、本当にマスクをとることができるのかという問題があると話し合いました。

朝起きた時にぐっすり眠れたと感じているかとの質問では、A評価ですので、よく眠れるようになったという結果です。しかし理由がなかなか考えづらく、最近では若い人たちは夜遅くまでスマートフォンなどをしていて睡眠障害ということも考えられるので、理由としてはわからないが今後も継続していけたらいいなということも話し合いました。それから、自分のことが好き、自己肯定感があるかというところで、小学生、中学生がA評価で成人がD評価ということでした。成人の自己肯定感が減少しているとはいえ小学生、中学生よりは数字が高いのは、子どもの頃には、少子化で親御さんが大切に育てられてあまり怒られることがなくても、社会に出たときに人間関係で、挫折をしたり自己肯定感が低くなるのではないかとということが考えられます。

アルコールについて、飲酒の割合がB評価になっております、これについてはコロナ禍で飲む機会、飲み会等が少なくなっているのでは数字が下がったのではないかと、また、コロナ禍の前でも飲み会などに参加する若い方が減少していたのではないかと、そういう理由かなと思います。さらに、飲酒する妊婦の割合はB評価で、妊娠中の健診でたばこやお酒を飲んでいると自己申告すると聞きました。子どもに対する影響があるのに飲んでいるということは、御本人に心のケアが必要ではないかという理由で、保健師さんの方でも対応をお願いしたい。飲酒については今後も啓発の継続が必要です。以上です。

【草川会長】

ありがとうございます。2グループお願いします。

【松室委員】

2グループです。食生活・栄養と、災害への備えについて、話し合いました。まず、食生活・栄養というところで、朝ごはんを毎日食べる人の割合が、D評価という結果でした。前回平成27年度に比べて減っているということですがけれども、やはりこれは、家の人が忙しく、夜に活動する人が増えたために、夜な夜なゲームとかをしている親が増え、朝に時間を作ることが出来ずに朝ごはんを控えるのではないかとこの話がありました。それと関連するのですが、朝ごはんを夕

ごはんを家族と揃って、または誰かと食べる子どもの割合です。これはあまり一人で食べないということになるかと思うのですが、ちょっと数字は増えていまして、A評価という判定になっています。しかし、揃って食べるということと、誰かと食べるということが一緒になって表れている数字で、これは、この数字だけでははっきりわかりかねるため、もうちょっとデータを細かく取る必要があるのではないかというご指摘がありました。その上で、野菜を1日2回以上食べる人の割合が減っております。B評価になっており、朝ごはんを食べないので食事の機会が減っていると同時に野菜も摂る量が減っていると考えられ、最近カット野菜だとか惣菜だとか手軽に食べられる食材が増えてきたので、そういうのを積極的に活用して、何とか野菜を多く食べてほしいなという話がありました。小学校でも食育の中で野菜を食べるように取組をしているのですが、小学生は分かっている、親の方にも啓発が必要ではないかということでした。

続きまして、災害への備えです。非常持ち出し袋の中に健康管理に必要なもの（歯ブラシ、お薬手帳、母子健康手帳の写し）などを備えている人の割合というところは若干増えているのですが、B評価ということで、増えてはいるものの目標値にはほど遠い状態で、検討しました。なかなか皆さん必要と感じていない人が多いということで、非常持ち出しの内容も、持ってらっしゃる方は食べ物というよりも防災的な物資の方を備えているという傾向がありました。それから、お薬手帳に関しましては、下の項目の自分や家族の持病や内服薬について知っている人の割合というところと関連するのですが、ここはB評価ということでこれも若干増えてはおります。ここでちょっとPRになりますが、今、薬剤の情報というのは、従来のお薬手帳などで皆さん管理していただいていると思いますし、お薬手帳も非常に重要なツールですので、ぜひとも活用していただきたいのですが、マイナポータルにログインすれば、自分の情報がレセプトベースのデータで過去3年間参照できるようになっております。マイナンバーカードの普及と合わせて、ぜひ啓発をしていただきたいなと思っております。マイナポータルはなかなか敷居が高いかと思うので、お薬を使われている方であれば、お薬の説明書に写真が入ったものを時々写真で撮って自分のスマートフォンに入れておいていただく、そして他の家族の分もしておいていただくと、万が一の時にも役に立つということで、よろしくお願ひしたいと思っております。以上です。

【草川会長】

ありがとうございます、3グループの方お願いします。

【佐藤委員】

3グループです。3グループはまず生活習慣病・がんについての話し合いをさせていただきました。全体的にまとめると、24時以降に就寝する中学生の割合がD評価、22時以降に就寝する幼児の割合ということで、こちら評価はありませんが、この辺りについては中学生だとスマートフォンを使う頻度であったり、YouTube等、動画サイトを見ていると時間の感覚が麻痺して就寝する時間が遅くなったり、そもそもしなきゃいけないことが多くて全体的に時間が押して結果的に遅くなったり、保護者の就労環境で、保護者の就労時間が長いとそれだけ子ども達との生活に影響して遅寝遅起きになってしまったり、そういうことが今現状としてあるのではない

かという話がありました。ふだんから健康に気をつけている人の割合、BMI 25以上の人の割合、食塩摂取量ですが、ふだんから健康に気をつけている人の割合がD評価ということで、むしろ現在健康に気をつかう方が増えているような印象があったのでこれはちょっと意外でした。課題のところにコロナ禍で啓発があまり出来ていないということも書いてありますが、以前よりも運動している方もよく見かけますし、この辺りがどうしてD評価なのかなというところはちょっと答えとしては出ませんでした。BMI 25以上の人の増加に関しては、コロナ禍によって家にいる時間が多くなり食事の量や回数が多くなったりストレスや運動不足がありこのような結果になっているのかという話がありました。食塩摂取量に関してはB評価でいい傾向かなと。これは世の中全体の減塩に対する意識が高まっていたり啓発の結果ではないかなということで、懇話会でゲンエンジャーに取り組んだ甲斐があったという話が出ました。がん検診と定期健診、糖尿病ですが、こちらに関しては検診に対する意識は高まっているように思います。ただ、がん検診となるとオプション扱いになるなど、大事だとは思ってはいるけれども受診に至らないケースもあるのかもしれない。これは職場での推奨、最後の一押し、というものが必要になってくる部分もあるのではないかなと思います。特定健診に関しては、数値としては上がっていてB評価です。現状と成果というところに未受診者や特定保健指導利用者への勧奨を行っているようなことも書いてありますので、その辺りの取組がこのB評価に繋がっているのか。それからこの糖尿病に関して、これも糖尿病の方も増えているのではないのかなという印象を勝手ながら持っていたので、A評価というのは嬉しい意外な結果でした。これは医療環境が充実して糖尿病で亡くなられる方が少ないという結果なのか、はっきりとした答えとなりませんでした。

次に、感染症と熱中症ですが、帰宅時いつも手を洗う方の割合、高齢者のインフルエンザ予防接種、これは新型コロナの影響というか、新型コロナの流れからの啓発の結果が繋がっていると思います。インフルエンザに関しては行政の貢献による取組があつてこの辺りに繋がっているのか。その次の1歳6か月児健診時までにMR1期の予防接種を終了している子どもの割合、これも行政の取組が結果として繋がってくるのか。最後に、熱中症による救急搬送者数がD評価ですが、これはその年によって暑さも違いますしどう理解をしていけば良いのかというのはありますが、年々暑くなっているような印象もあり、例えば高齢の方ですとクーラーをつけておらず亡くなられたというようなことも聞きますので、もうちょっと詳しい内容が分かれば具体的な対策に繋げることもできるのではないかなというお話もありました。以上です。

【草川会長】

はい、ありがとうございました。4グループお願いします。

【溝田委員】

4グループです。運動について、週1回以上運動している人の割合は減っていました。新型コロナが影響しているのかなという話もしつつ、コロナ禍において体を動かすということについては、例えば在宅でということが一つ方法としてあつて、YouTubeでヨガをされている方であるとか、テレビの番組なんかでも体を動かすことを企画されたりとか、いろいろな方法が組み

入れられて、運動して気分が良くなったり、体を少しでもいろんなやり方で動かすというのが大切だし良いことだよねということもPRしているというか、皆さんが知っていただくというのが大切であるため、伝え方の工夫をすることも大切なのかなという話をしていました。意識して体を動かす割合は逆に増えているので、体を動かす人の割合は増えつつ運動している割合が減っていると言っていて、ここも聞き方というか捉え方で、もしかすると運動と体を動かすというところが、無理に線を引いているのではないか、やランニングやウォーキングをしないと運動したことにならないかと思ってしまうのかなというお話もしました。ですから体を動かすことが良いことだということも伝えていくというのが必要で、ホームページや広報紙という連絡媒体の話がたくさん出てくるのですが、それは取りに行かないとわからないやり方だから、もしかすると皆さんもスマートフォンというのを使われている中でSNSとか、プッシュ型で相手に届くようなやり方に少しずつ工夫というか、柔軟に取り組んでいくというのが一つの方法でもあるのかなという話がありました。続きをよろしくお願いします。

【亀井委員】

歯とお口の健康です。指標があって全般的に評価の方はA評価とB評価になっています。評価としては、良い内容だったと思います。個別の項目を見ていきますけども、内容としてはアンケート結果から引っ張っているものと、あとは実際の検診とかも検診率をデータとして持っているものがあります。8020運動を知っている人の割合ということで、これは令和4年度59.4%で評価がB評価ということですけど、達成者が50%以上になっていますし、現状値も上がってはいるので、これは良い結果だと思います。2番目の60歳代で自分の歯が24本以上ある人の割合ですけども、これが平成27年の30%だったのが令和4年の60.4%と。これかなり増えてはいるのですが、増え方が倍になっているので、何か質問の仕方とかその辺のところでは前回が特に低く出ているのか今回が高く出ているのかわかりませんが、この間にこれぐらいの変化があったかなと言われるとちょっと疑問が残る点があります。評価としては良くなっていますので、これも良しとしました。次、虫歯のない子どもの割合ですが、これは実際の健診率を出していますので、結構正確なデータだと思いますし、僕も3歳児健診とかやっていますけども、ふだんの感覚に近い状況です。3歳児が88.4%、12歳児が66.8%で、やはりお母さん方のお子さんの虫歯とかに対する意識がすごく高まってきたという話やお子さんの健診をすごく一生懸命優先してやられるという話が出て、それとは逆に自分自身に使う時間がその分減っているのではないかというお話をいただきました。次の項目、歯磨きを1日2回以上する人の割合ですけども、これも少し増えて79%ということで、これもこれぐらいなのかなというB評価ということになっていますけども良いと思います。次に歯周病検診の受診率についてですが、令和3年は13.4%ですが、会の方でも毎年受診率を出していて令和4年は13.1%と会議で聞きました。目標18%なので私達も努力して目標値に近づけていけるようにしたいと思いますが、大体この値に毎年落ち着いてきているのかなというところではあります。次は妊婦歯科健診の受診率。これは53.7%とかなり高いのですが、これは実際の受診率ではなくてアンケートで質問をして、それに「はい」と答えた人の率になっていますのでかなり高い数値

になってA評価という良い結果になって良かったなと思います。以上です。

【草川会長】

はい、ありがとうございました。本日それぞれの得意分野、不得意分野、いろいろあったとは思いますが、詳細な御検討ありがとうございました。高齢化と認知症という課題、少子化と子育てという課題、その大きな二つの時間軸みたいなものが若干個々の項目の中では抜け落ちているのではないかなというところがあるので、そこを意識して良い第4次健康づくり計画に向けて動いていただきたいと思います。

4. 津市第4次健康づくり計画策定スケジュールについて

【草川会長】

続いて、4の津市第4次健康づくり計画策定スケジュールについて御説明をお願いします。

【事務局】

資料3の津市第4次健康づくり計画策定スケジュールの方をご覧ください。今回のアンケート調査の結果を基にこれから津市第3次健康づくり計画の評価を進めさせていただきます。令和5年3月に計画の指標、目標値、ありたい姿、計画の方向性を協議、令和5年6月に計画素案を作成、令和5年9月には計画素案、ダイジェスト版素案について御協議をしていただきまして、令和6年2月に計画とダイジェスト版完成案をお示しさせていただき、令和6年3月には完成としていく予定です。

懇話会委員の皆様には下線のついた、令和5年5月、7月、9月、11月、令和6年2月の懇話会において計画策定に向けての御協議をお願いいたします。

また、令和6年3月には市長へ懇話会活動報告をしていただく予定となっております。

令和4年度は当初、第5回懇話会をこの令和5年3月に実施する予定としておりましたが、計画策定スケジュールの関係上、この3月の懇話会を取りやめとさせていただきます。

令和5年3月中に第4次健康づくり計画の目標値やありたい姿を決定した後、4月頃に事務局より第4次健康づくり計画での地域で進めていく具体策として、懇話会委員の皆様の所属団体や組織で取り組んでいただくことについて御検討いただく用紙を郵送させていただきます。令和5年5月の第1回懇話会で回収させていただき流れでお願いしたいと思います。よろしくご協力いたします。

【草川会長】

はい、ありがとうございます。

5. 津保健所からの連絡とアドバイス

【草川会長】

紀平さんアドバイザーとして意見ををお願いします。

【紀平副所長】

委員の皆さん、活発な御意見本当にありがとうございます。市役所の方には本当にタイトな中でアンケートをまとめていただき、今日の評価とまとめの話し合いができるような資料も作成いただいて本当に大変だったなと思います。本日の色々な御意見を踏まえて、今年の5月に向けて準備を進めていただきたいと思います。

さて、国では現在、国民健康・栄養調査の集計中、三重県でも県民・栄養健康調査のまとめに入っている状況です。国の健康日本21の最終評価報告書に提示された次期計画に向けた課題やデータ等を利活用し、効果的な住民の行動変容を促すための方策が検討されています。健康の無関心層を含めた健康づくりの方策を、社会環境整備を通じて更に進めていく。また、男女の性差、年齢等も加味した健康づくりの方策、健康の格差の縮小を進めるための方策、それと新型コロナの関係により感染症の拡大によるこの生活習慣の変化も踏まえた健康づくりの施策も掲げられています。県の計画、それと津市の計画においてもこの点を考慮しながら策定していくのかと思っております。

新型コロナに関しては先程、課長の方からも御説明あったかと思いますが、2類から5類になるのか、どのような内容になるかという点は、4月頃に変化してくると思っております。なお、津管内が年末から年始にかけて県内において非常に患者発生数が多い状況があったため、データ等をまとめたところ、津だけが高齢者施設での患者発生数が多いという訳ではなく、確かなデータはありませんが医療機関に受診をして診断される人が他の地域よりも若干多いかと思っております。現在、患者数が落ち着いておりますが、違う変異株が出てきているという地域もありますのでその後の動向をこれからも見ていく必要があるかと思っております。もう1つは普通のインフルエンザですが、1月に入ってから三重県は流行期に入っております。伊勢、松阪の方では、学校の学級閉鎖等が出てきておりますので注意が必要です。続けて感染対策をお願いします。

もう一つ、研修会の御案内です。皆さんのお手元の方にお配りしていますが、新型コロナの影響もあってやはりメンタルヘルス不調対策が必要ということもありますので、津地域職域連携推進協議会と津保健所で企画をして、1月31日に研修会をする予定でございますので、また職場やお知り合いの方への紹介をお願いしたいと思います。

【草川会長】

ありがとうございました。

6. その他連絡事項

【草川会長】

引き続き、その他連絡事項をお願いします。

【事務局】

1点目ですが、次期計画書の表紙となる写真提供のお願いです。津市第3次健康づくり計画の表紙は、懇話会委員の皆様に様々な写真を御提供いただき楽しい表紙を作らせていただきました。津市第4次健康づくり計画の表紙につきましても、委員の皆様が健康づくりをされている活動の写真を掲載したいと考えています。次回の懇話会で改めて提供のお願いをさせていただく予定となっておりますのでよろしくお願いいたします。

2点目、本日使用した資料1の結果報告書を回収させていただきたいと思います。次回の懇話会でもこちらを使用しますので、表紙に御名前を御記入いただきまして、本日お帰りの際に机の上に置いていただけたらと思いますのでよろしくお願いいたします。

3点目、次年度の第1回津市健康づくり推進懇話会は5月を予定しております。日時、場所等の詳細につきましては後日文書で御案内をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。先程も御説明をさせていただきましたが、4月頃に委員の皆様にご検討いただく用紙を郵送させていただきますので、御協力をお願いいたします。

【草川会長】

それぞれの皆さんから連絡事項はございませんか。

それでは今日の会議は終了です。来年度もこの委員さんでもう一年ありますのでよろしくお願いいたします。ありがとうございました。